進化する個性派化学

昭和電工株式会社
2012年第2四半期　決算説明資料

2012年8月1日決算発表

取締役 執行役員 CFO
酒井　仁和

本資料は発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後、市況や為替レートの変動などを含む様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

連結対象会社（前期末対比）

- 連結子会社　　38社：△4社　サーマル・テクノロジー・コーポレーション・オブ・アメリカ
  ショウワ アルミナム タイランド カンパニーリミテッド
  ショウワ・アルミニウム・チェコ S.R.O.
  大洋昭和汽車空調（大連）有限公司　（全てアルミニウムセグメント）
- 持分法適用会社 18社：増減なし

※連結対象会社は2012年第1四半期から変更なし

主要諸元

（期中平均）

	2011年1-6月	2012年1-6月	増減
■為替レート※（円/US$）	82.0	79.7	2.3 円高
■国産ナフサ（円/KL）	55,750	57,350	1,600
■アルミ LME（US$/T）	2,573	2,116	△457

※11年12月末レート77.7円　　12年6月末レート79.3円　⇒ 1.6円円安

連結業績の概要

2011年1-6月　対　2012年1-6月

（億円）

	2011年1-6月	2012年1-6月	増減
売上高	4,165	3,523	△642
営業利益	221	160	△61
営業外損益	△40	△16	24
内、金融収支	△21	△18	3
内、持分法投資利益	4	5	1
経常利益	181	144	△36
特別利益	13	3	△10
特別損失	△ 84	△55	29
税金等調整前四半期純利益	110	92	△18
法人税等	△18	△6	12
少数株主損益調整前四半期純利益	92	87	△5
少数株主利益	△14	△8	6
四半期純利益	78	79	1

特別損益の内訳

（億円）

	2011年1-6月	2012年1-6月	増減
■特別利益	13	3	△10
●固定資産売却益	0	1	1
●退職給付引当金戻入額	7	―	△7
●その他	7	2	△5
■特別損失	△84	△55	29
●固定資産除売却損	△6	△8	△2
●減損損失	△4	△23	△20
●東日本大震災関連損失	△29	―	29
●その他	△45	△24	21
■特別損益	△71	△52	19

連結売上高差異内訳(1-6月累計前年同期対比)

(億円)

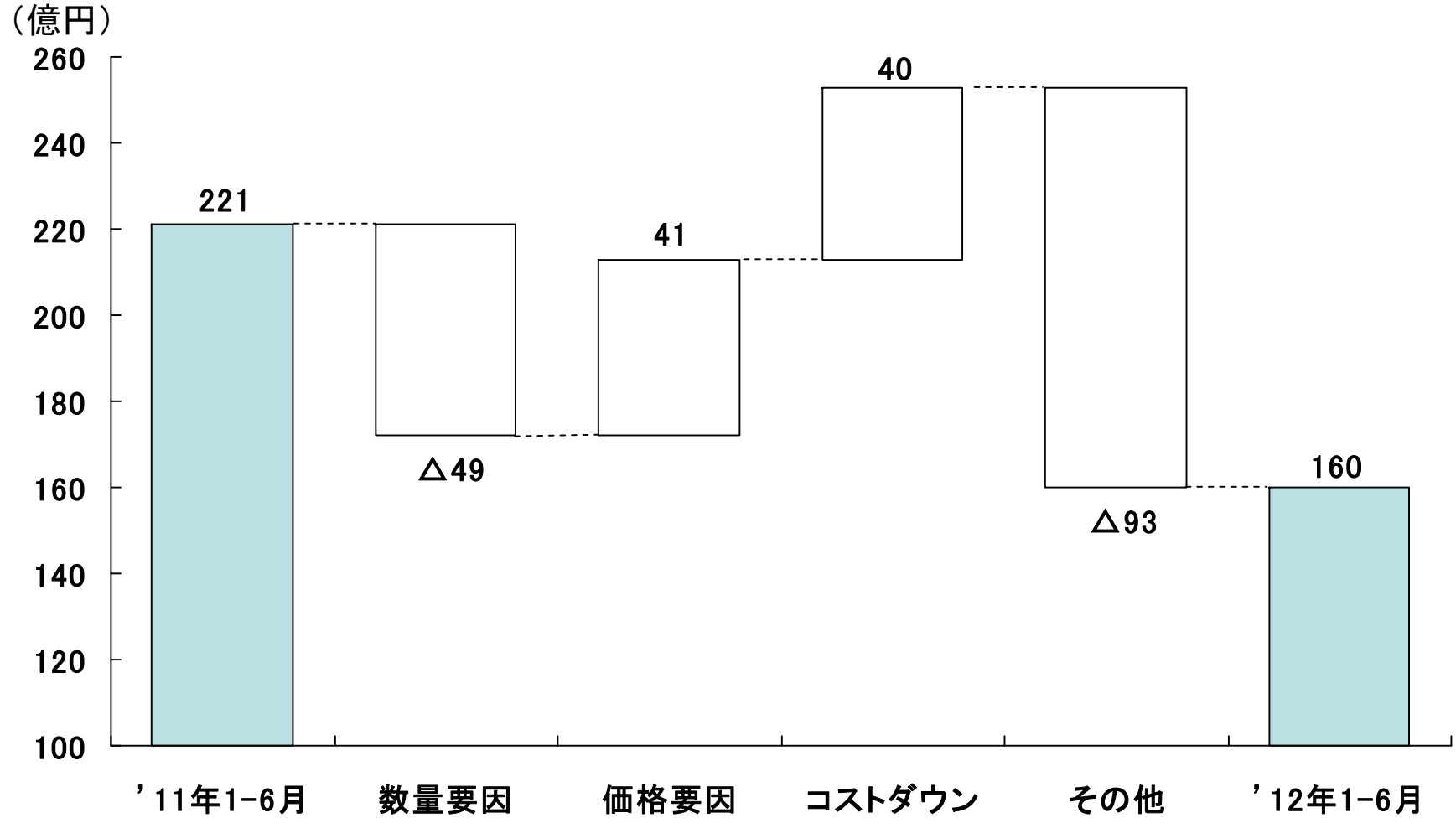
	2011年 1-6月	2012年 1-6月	増減	項目
石油化学	1,270	726	△545	オレフィン:減収(エチレン設備不具合、需給緩和による数量減) 有機:減収(酢ビ等数量減)
化学品	663	627	△36	機能性高分子:小幅減収(数量減) 産業ガス:減収(ドライアイス等数量減) 基礎化学品:減収(AN:需給緩和、市況下落) 情報電子化学品:前年同期並み
エレクトロニクス	686	854	168	HD:増収(数量増、能力増強が寄与) 化合物半導体:増収(超高輝度LED数量増) レアアース:増収(前期央の原料高騰の影響)
無機	400	329	△71	セラミックス:減収(電子材料向け数量減) 電極:前年同期並み(米国:増収、単体:減収)
アルミニウム	617	476	△142	コンデンサー用高純度箔、押出・機能材:減収(数量減) 熱交換器:大幅減収(自動車空調用事業を譲渡) ショウティック:増収(数量増) アルミ缶:小幅増収
その他	766	688	△78	リチウムイオン電池関連材料:減収(数量減) 昭光通商:減収(金属事業、化学品事業)
調整額	△238	△177	61	
合計	4,165	3,523	△642	

連結営業利益差異内訳(1-6月累計前年同期対比)

(億円)

	2011年 1-6月	2012年 1-6月	増減	項目
石油化学	41	△22	△63	オレフィン:減益(設備不具合、需給緩和による数量減) 有機:減益(酢ビ等数量減)
化学品	28	△2	△31	機能性高分子:前年同期並み 産業ガス:減益(数量減) 基礎化学品:減益(AN:需給緩和、市況下落) 情報電子化学品:減益(数量減)
エレクトロニクス	75	179	103	HD:増益(数量増、能力増強が寄与) 化合物半導体:増益(数量増) レアアース:減益(数量減)
無機	56	23	△33	セラミックス:減益(電子材料向け数量減) 電極:前年同期並み
アルミニウム	36	11	△25	コンデンサー用高純度箔、押出・機能材:減益(数量減) 熱交換器:減益(自動車空調用事業を譲渡) ショウティック:前年同期並み アルミ缶:僅かに増益
その他	15	2	△13	リチウムイオン電池関連材料:減益(数量減) 昭光通商:小幅減益
調整額	△31	△32	△1	
合計	221	160	△61	

連結営業利益差異内訳


（億円）
260
240
220
200
180
160
140
120
100
221
△49
41
40
△93
160
’11年1-6月
数量要因
価格要因
コストダウン
その他
’12年1-6月

連結貸借対照表

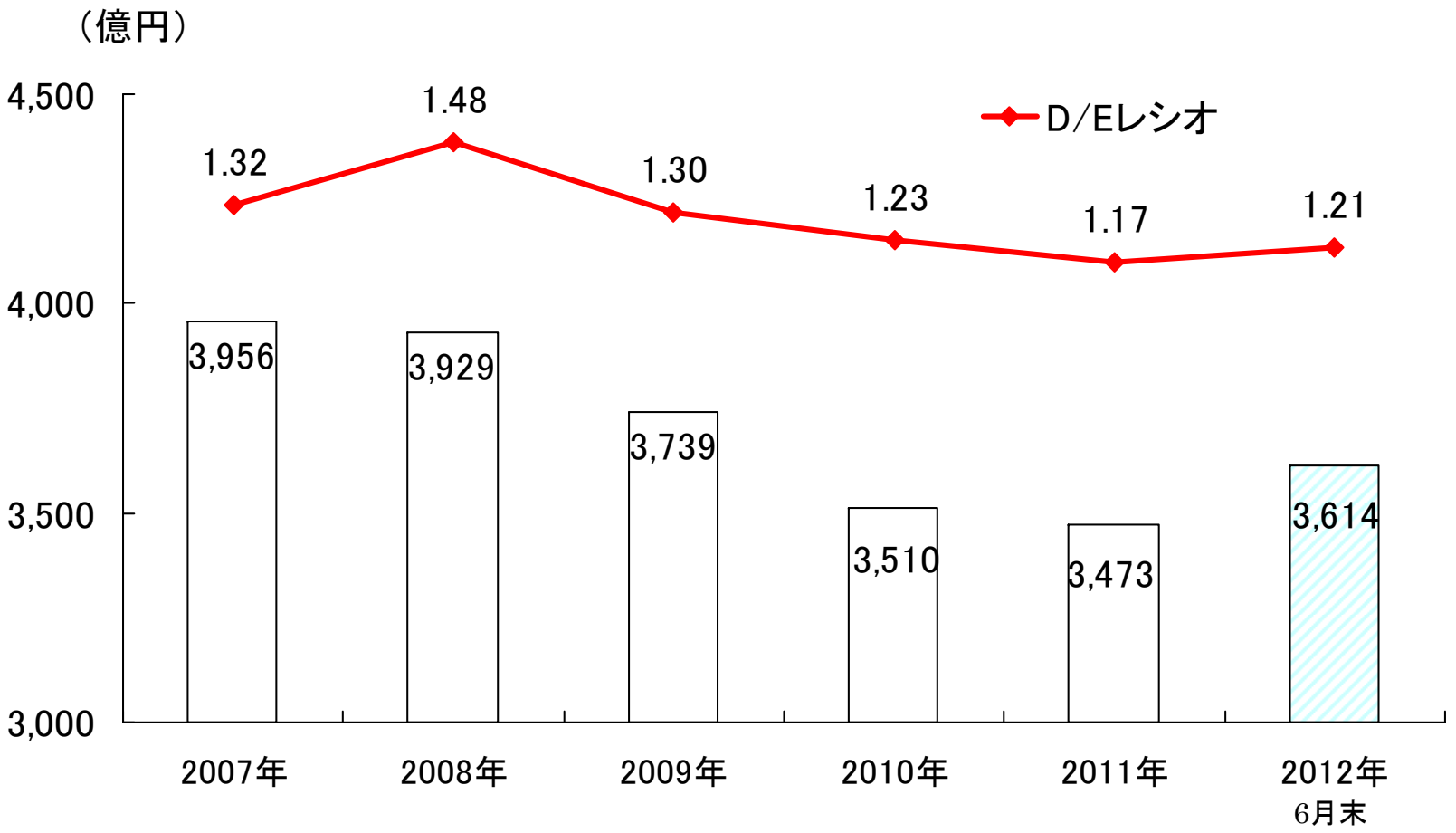
（億円）

資産	2011年12月末	2012年6月末	増減	負債・純資産	2011年12月末	2012年6月末	増減
現預金	552	424	△128	営業債務	1,172	1,131	△40
営業債権	1,394	1,276	△117	有利子負債	3,473	3,614	141
たな卸資産	1,237	1,319	82	退職給付引当金	247	241	△6
その他	296	422	126	その他	1,564	1,344	△220
流動資産計	3,479	3,442	△37	負債計	6,456	6,330	△126
建物・構築物	842	820	△22	資本金	1,406	1,406	－
機械装置・運搬具	1,235	1,191	△44	資本剰余金	622	622	0
土地	2,549	2,546	△2	利益剰余金	489	515	26
他有形固定資産	198	194	△4	自己株式	△1	△1	0
有形固定資産計	4,824	4,751	△72	株主資本計	2,515	2,541	26
無形固定資産	111	105	△7	その他有価証券評価差額金	△49	△37	12
投資その他の資産	999	1,024	25	繰延ヘッジ損益・為替換算調整勘定	△229	△212	17
(内、投資有価証券)	596	647	52	土地再評価差額金	282	282	0
				その他の包括利益累計額合計	4	33	29
				少数株主持分	438	418	△20
固定資産計	5,934	5,880	△54	純資産計	2,957	2,992	35
資産合計	**9,413**	**9,322**	**△91**	**負債・純資産合計**	**9,413**	**9,322**	**△91**

総資産・有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率

	2011年12月末	2012年6月末	増減
■ 総資産	9,413億円	9,322億円	△91億円
■ 有利子負債	3,473億円	3,614億円	141億円
■ D/Eレシオ	1.17倍	1.21倍	0.04p増
■ 自己資本比率	26.8%	27.6%	0.8p増

連結有利子負債の推移



自己資本比率	26.9%	25.0%	25.5%	26.1%	26.8%	27.6%

連結キャッシュ・フロー

（億円）

	2011年 1-6月	2012年 1-6月	増減
●営業CF	139	25	△114
●投資CF	△192	△196	△5
●フリー・キャッシュ・フロー	△53	△172	△119
●財務CF	△14	33	47
●その他	0	10	10
現預金増減額	△66	△128	△62

金融収支・設備投資・人員等（連結）

（億円）

	2011年 1-6月	2012年 1-6月	増減
●金融収支	△21	△18	3
●設備投資	196	207	11
●減価償却費	247	231	△15
●研究開発費	110	102	△8
●期末従業員（人）	11,790	9,905	△1,885※
●総人件費	377	364	△13

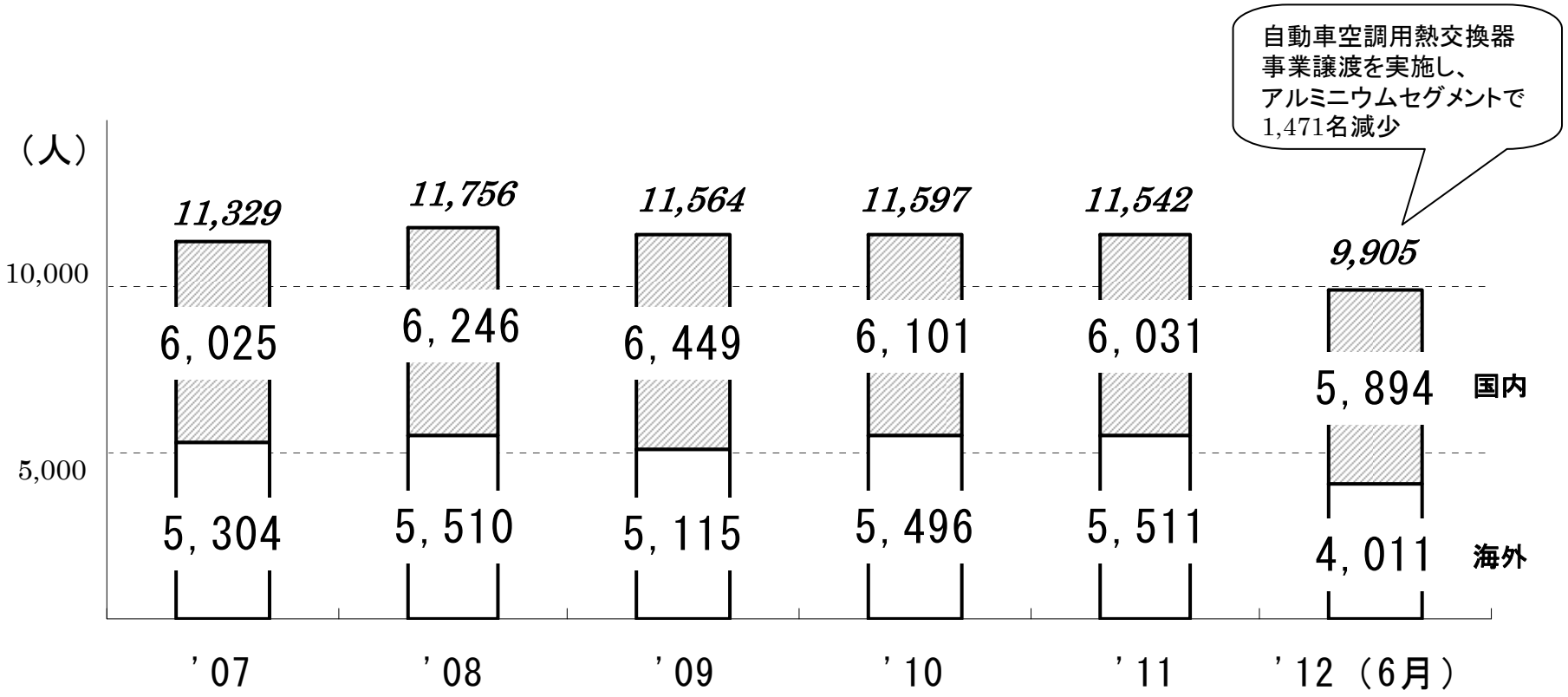
※本年１月に自動車空調用熱交換器事業譲渡を実施し、アルミニウムセグメントで1,471名減少

セグメント別設備投資・減価償却

（億円）

	2011年（1-6月）		2012年（1-6月）		増減	
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却
石油化学	13	35	22	36	10	0
化学品	30	46	49	46	19	0
エレクトロニクス	95	97	51	83	△44	△15
無機	21	17	31	17	10	0
アルミニウム	21	34	20	30	0	△4
その他	16	17	32	19	16	2
全社計	196	247	207	231	11	△15

連結総人員の推移と国内海外人員割合



国内割合	53.2%	53.1%	55.8%	52.6%	52.3%	59.5%
海外割合	46.8%	46.9%	44.2%	47.4%	47.7%	40.5%

2012年通期業績予想

(億円)

	2011年 実績	2012年予想 (8月1日公表)	増減	2012年 期初予想 (2月9日公表)
売上高	8,542	7,900	△642	8,800
営業利益	474	420	△54	480
営業外損益	△73	△60	13	△60
経常利益	400	360	△40	420
特別利益	22	△115	24	△90
特別損失	△161			
当期純利益	170	180	10	230
1株当たり当期純利益	11円35銭	12円03銭	68銭	15円37銭
1株当たり配当金	3円	3円(予定)	−	3円(予定)

セグメント別通期売上高予想（連結）

（億円）

	2011年 実績	2012年予想 （8月1日公表）	増減	2012年 期初予想 （2月9日公表）
石油化学	2,504	1,950	△554	2,400
化学品	1,302	1,350	48	1,400
エレクトロニクス	1,650	1,750	100	1,900
無機	776	750	△26	850
アルミニウム	1,243	1,000	△243	1,050
その他	1,506	1,450	△56	1,600
調整額	△439	△350	89	△400
合計	8,542	7,900	△642	8,800

セグメント別通期営業利益予想(連結)

(億円)

	2011年 実績	2012年予想 (8月1日公表)	増減	2012年 期初予想 (2月9日公表)
石油化学	35	0	△35	45
化学品	20	25	5	45
エレクトロニクス	302	335	33	260
無機	96	75	△21	100
アルミニウム	62	40	△22	60
その他	19	10	△9	30
調整額	△61	△65	△4	△60
合計	474	420	△54	480

予想諸元

(億円)

	2011年実績	2012年予想	差異
●有利子負債	3,473	3,500	27
●金融収支	△43	△39	4
●研究開発費	216	212	△4
●期末従業員(人)	11,542	10,087	△1,455
●総人件費	753	729	△24
●為替レート(円/US$)	(上期) 82 (下期) 78	(上期実績) 80 (下期織込) 80	(上期) △2 (下期) 2
●国産ナフサ(円/KL)	(上期) 55,750 (下期) 53,300	(上期実績) 57,350 (下期織込) 52,400	(上期) 1,600 (下期) △900
●アルミLME(US$/T)	(上期) 2,573 (下期) 2,600	(上期実績) 2,116 (下期織込) 2,170	(上期) △457 (下期) △430

セグメント別設備投資・減価償却予想（通期）

（億円）

	2011年		2012年予想		増減予想	
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却
石油化学	26	71	41	72	14	1
化学品	68	94	80	94	12	0
エレクトロニクス	135	192	114	166	△21	△25
無機	53	35	139	35	86	0
アルミニウム	54	69	49	61	△5	△7
その他	51	34	81	41	29	7
全社計	388	494	503	470	115	△24

(ご参考)連結業績の概要

2011年4-6月　対　2012年4-6月

(億円)

	2011年4-6月	2012年4-6月	増減
売上高	2,235	1,710	△526
営業利益	127	65	△63
営業外損益	△26	△4	22
内、金融収支	△10	△8	1
内、持分法損益	△0	0	1
経常利益	101	61	△40
特別利益	11	1	△10
特別損失	△43	△40	4
税金等調整前四半期純利益	69	22	△47
法人税等	△10	7	17
少数株主損益調整前四半期純利益	59	29	△30
少数株主利益	△7	△4	3
四半期純利益	52	26	△27

（ご参考）連結売上高差異内訳（2Q前年同期対比）

（億円）

	2011年 4-6月	2012年 4-6月	増減	項目
石油化学	682	255	△427	オレフィン：減収（エチレン設備不具合、需給緩和による数量減） 有機：減収（エチレン設備不具合による数量減）
化学品	339	321	△18	産業ガス：減収（数量減） 基礎化学品：減収（AN：市況下落） 情報電子化学品：減収（数量減）
エレクトロニクス	421	440	19	HD：前年同期並み 化合物半導体：増収（超高輝度LED数量増） レアアース：増収（価格上昇）
無機	203	168	△35	セラミックス：減収（電子材料向け大幅数量減） 電極：小幅減収（米国：前年同期並み、単体：減収）
アルミニウム	320	261	△59	コンデンサー用高純度箔、押出・機能材：減収（数量減） 熱交換器：減収（自動車空調用事業を譲渡） アルミ缶：増収（数量増）
その他	386	352	△34	リチウムイオン電池関連材料：減収（数量減） 昭光通商：減収（金属事業等）
調整額	△115	△87	28	
合計	2,235	1,710	△526	

（ご参考）連結営業利益差異内訳（2Q前年同期対比）

（億円）

	2011年 4-6月	2012年 4-6月	増減	項目
石油化学	20	△23	△43	オレフィン：減益（エチレン設備不具合、需給緩和による数量減） 有機：減益（エチレン設備不具合による数量減）
化学品	11	△8	△19	産業ガス：減益（数量減） 基礎化学品：減益（AN：市況下落）
エレクトロニクス	54	91	37	HD：増益（製品構成改善） 化合物半導体：増益（数量増） レアアース：減益（数量減）
無機	32	8	△23	セラミックス：減益（電子材料向け数量減） 電極：前年同期並み
アルミニウム	20	14	△6	コンデンサー用高純度箔、押出・機能材：減益（数量減）
その他	8	1	△7	リチウムイオン電池関連材料：減益（数量減）
調整額	△17	△19	△1	
合計	127	65	△63	

（ご参考）連結業績の概要（12年1Q ,2Q対比）

（億円）

	2012年1-3月	2012年4-6月	増減
売上高	1,814	1,710	△104
営業利益	95	65	△31
営業外損益	△12	△4	8
内、金融収支	△9	△8	1
内、持分法損益	5	0	△4
経常利益	83	61	△22
特別利益	3	1	△2
特別損失	△16	△40	△23
税金等調整前四半期純利益	70	22	△48
法人税等	△13	7	20
少数株主損益調整前四半期純利益	58	29	△29
少数株主利益	△4	△4	1
四半期純利益	53	26	△28

（ご参考）連結売上高差異内訳（12年1Q ,2Q対比）

（億円）

	2012年 1-3月	2012年 4-6月	増減	項目
石油化学	471	255	△216	オレフィン、有機：減収（エチレン設備不具合による数量減）
化学品	306	321	14	産業ガス：増収（炭酸ガス・ドライアイス数量増） 基礎化学品：増収（AN：数量増） 情報電子化学品：増収（数量増）
エレクトロニクス	415	440	25	HD：増収（数量増） 化合物半導体：増収（超高輝度LED数量増） レアアース：前四半期並み
無機	161	168	7	セラミックス：増収（数量増） 電極：前四半期並み
アルミニウム	215	261	47	コンデンサー用高純度箔、ショウティック：増収（数量増） 押出・機能材：減収（数量減） 熱交換器：前四半期並み アルミ缶：増収（季節性による数量増）
その他	336	352	15	リチウムイオン電池関連材料：増収（数量増） 昭光通商：増収（金属事業等）
調整額	△90	△87	3	
合計	1,814	1,710	△104	

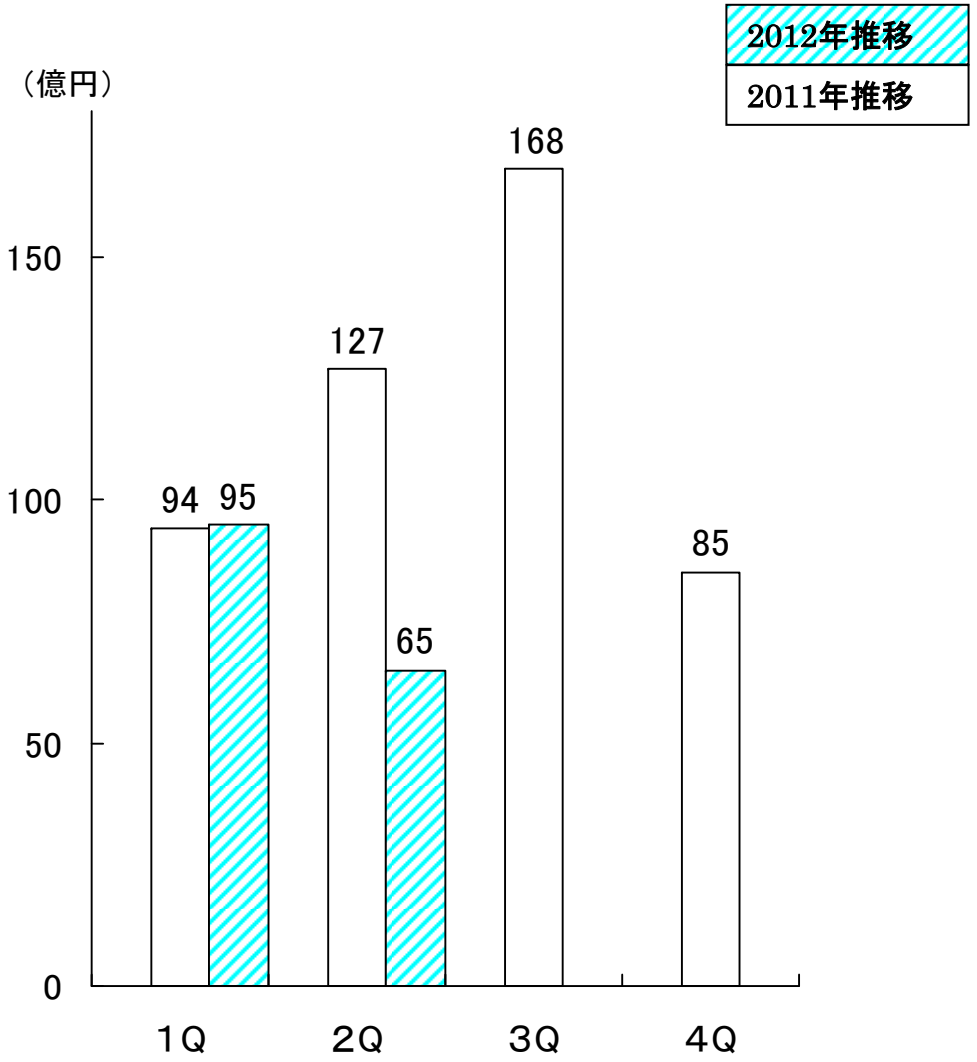
（ご参考）連結営業利益差異内訳（12年1Q、2Q対比）

（億円）

	2012年 1-3月	2012年 4-6月	増減	項目
石油化学	1	△23	△23	オレフィン：減益（エチレン設備不具合による数量減） 有機：前四半期並み
化学品	6	△8	△13	産業ガス：減益（原燃料高） 基礎化学品：減益（AN：市況下落） 情報電子化学品：小幅増益
エレクトロニクス	87	91	4	HD：増益（数量増） 化合物半導体：増益（超高輝度LED数量増） レアアース：減益（価格低下）
無機	15	8	△7	セラミックス：減益（低価法等） 電極：僅かに増益（米国：前四半期並み、単体：増益）
アルミニウム	△2	14	16	コンデンサー用高純度箔、ショウティック：増益（数量増） 押出・機能材：小幅減益 熱交換器：前四半期並み アルミ缶：増益（季節性による数量増）
その他	2	1	△1	
調整額	△13	△19	△5	
合計	95	65	△31	

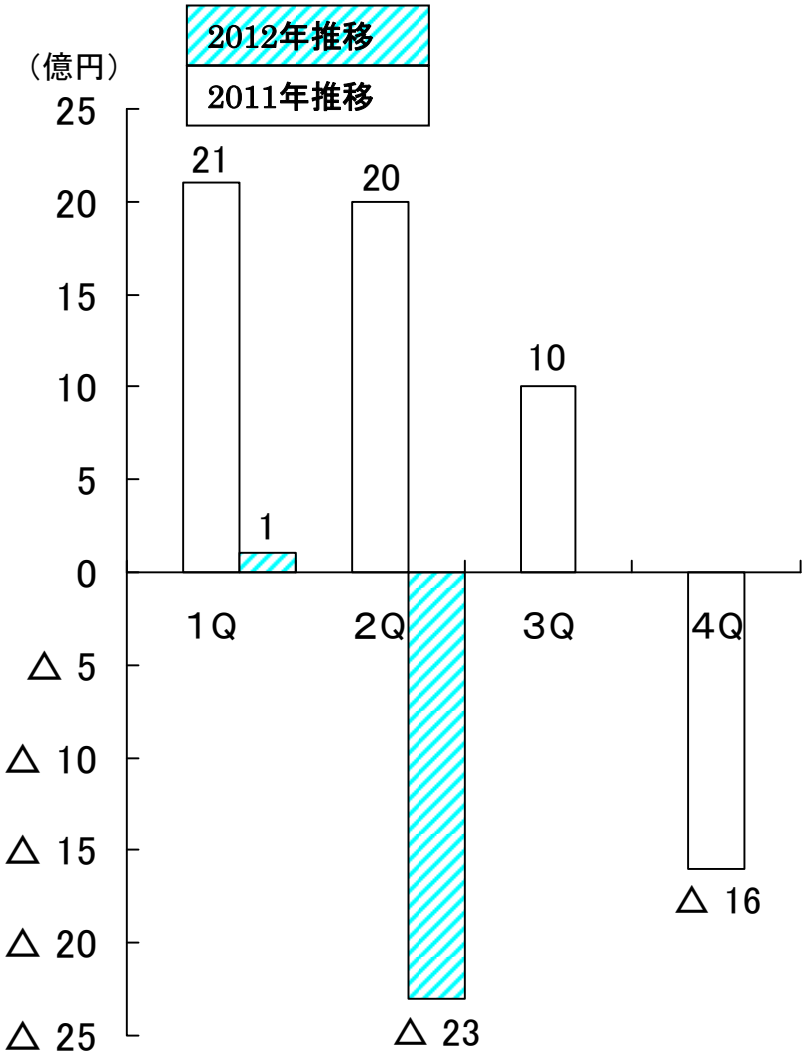
（ご参考）四半期別連結営業利益推移

■全　　社

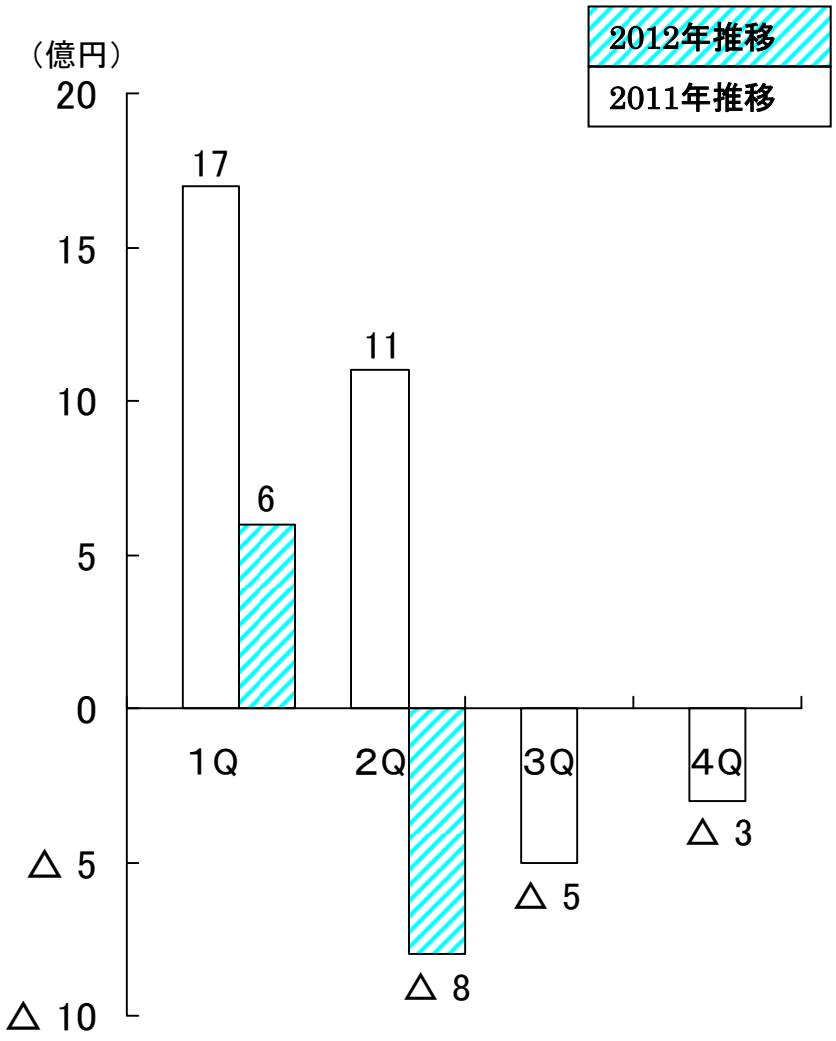


（ご参考）セグメント別営業利益推移

■石油化学セグメント

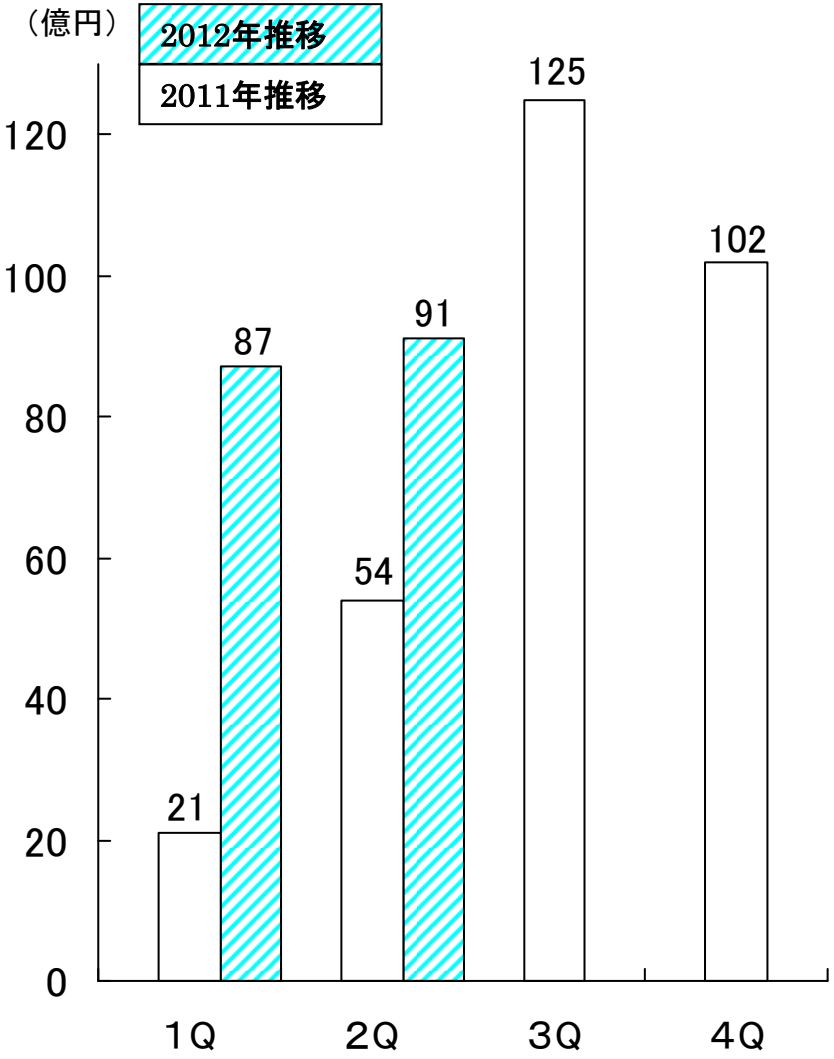


■化学品セグメント

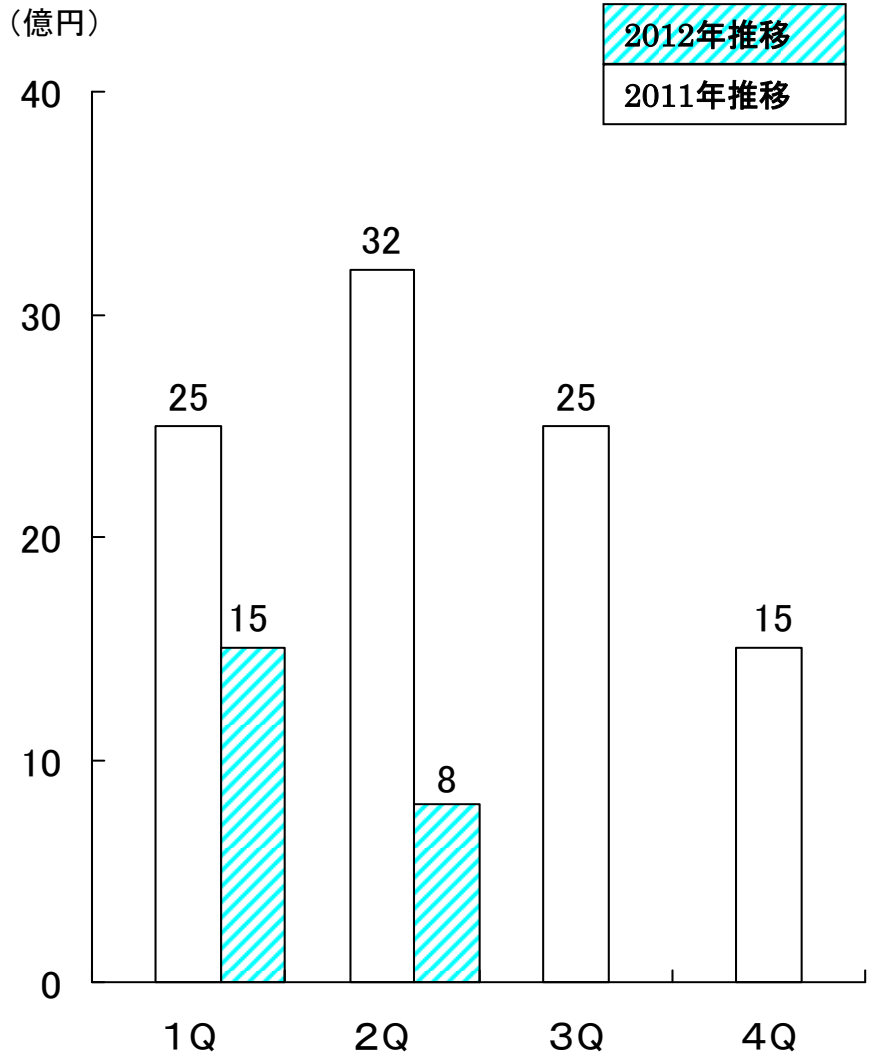


（ご参考）セグメント別営業利益推移

■エレクトロニクスセグメント

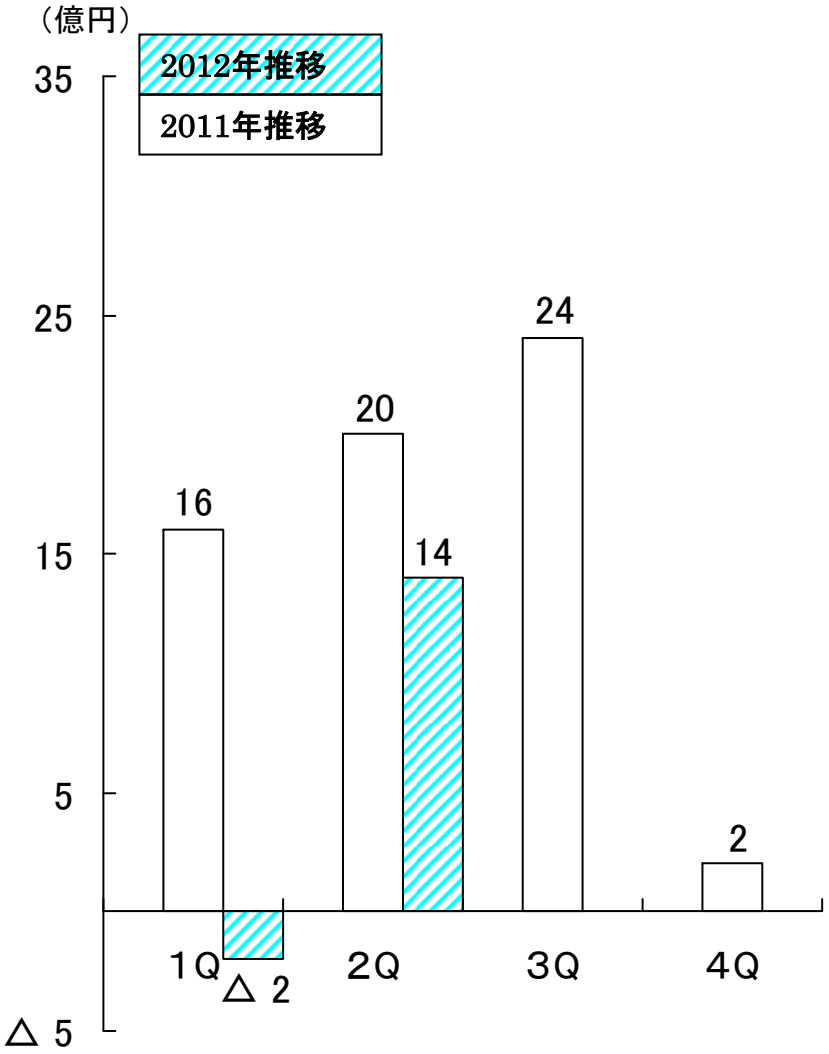


■無機セグメント

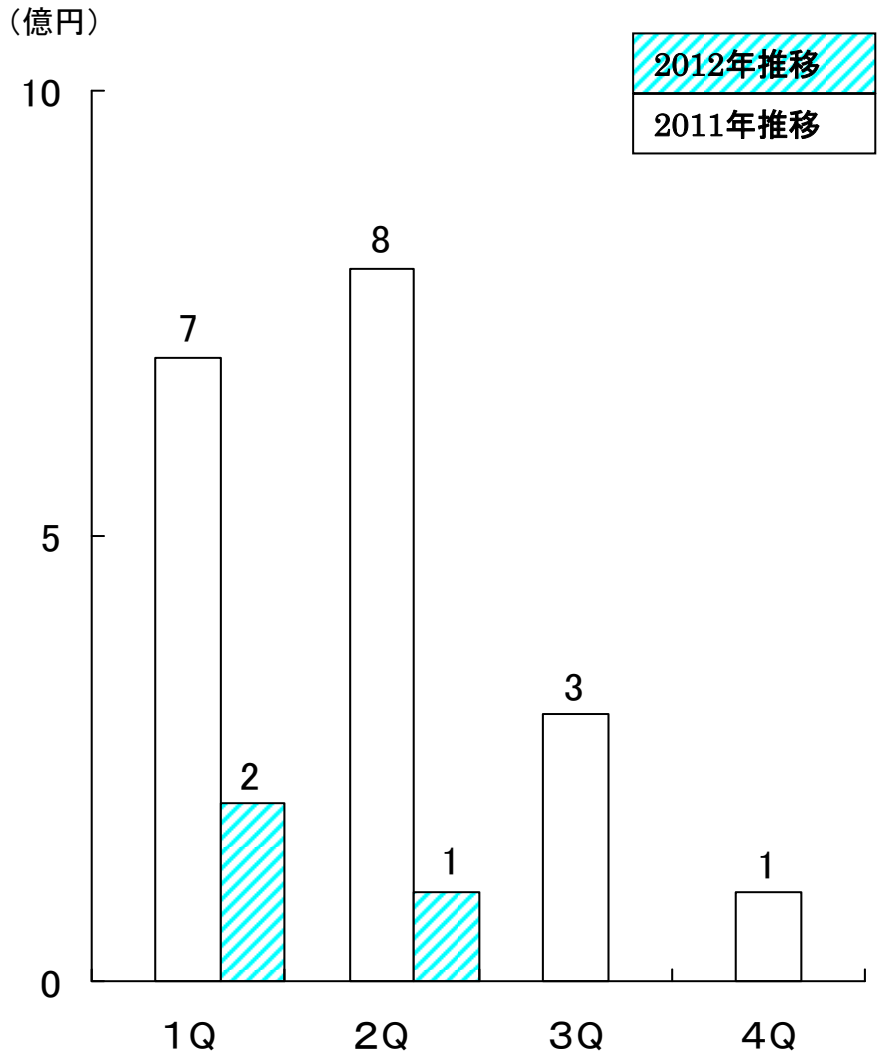


（ご参考）セグメント別営業利益推移

■アルミニウムセグメント



■その他セグメント



セグメント別トピックス

■ 全社施策

●ゼロエミッションに向けた産業廃棄物の再資源化への全社的な取り組みを開始

◆ 製造工程等で発生する産業廃棄物の再資源化について、本年5月より事業所単位から当社全体で包括的に取り組むこととした。取り組みの第一段階として、国内の各事業所から発生した有機系排出物をプラスチックケミカルリサイクルプラント（川崎事業所）においてガス化処理し、アンモニアと炭酸ガスの原料として再資源化する。今後は有機系排出物以外についても全社的に再資源化を進め、2015年にはゼロエミッション(注)を達成し、産業廃棄物の外部委託処理費用を現状の約半分に削減することを目指す。

（注）ゼロエミッション：資源とエネルギーを可能な限り活用し、環境への排出をゼロに近づけ、資源循環型の社会を目指すもので1994年に国連大学が提唱。当社では最終埋め立て処理量が年間発生量の1%以下（1,200トン以下）と定義。

■石油化学セグメント

●エチレンプラントの設備不具合による一時停止・稼動再開

◆ 大分コンビナートエチレンプラントにおいて、3月18日に冷却工程の設備不具合が発生した。当初、エチレンプラントの20万トン部分の分解炉については3月7日から3月29日まで、49万5千トン部分については3月15日から3月21日まで、定期修理および清掃のため生産を停止する計画だったが、設備の補修のため停止期間を延長し6月13日より定常運転を再開した。

セグメント別トピックス

■ 化学品セグメント

●エレクトロニクス向け高純度ガス関連事業の子会社を設立

◆ 中国におけるエレクトロニクス向け高純度ガス関連事業強化のため、当社100%出資の子会社「上海昭和電子化学材料有限公司」（中国上海市）を新設し、本年7月より営業を開始した。
新会社は、半導体製造工程等で排出される高純度ガスの処理装置の製造・販売事業を行い、将来的には、エレクトロニクス向け高純度ガスの製造・販売や中国における物流拠点として整備を進めていく。

■エレクトロニクスセグメント

●GaN系LED素子事業を分離し合弁事業化を決定

◆ 本年中をめどに窒化ガリウム（GaN）系青色LED素子事業を分離、別会社化し、同社の株式70%を豊田合成株式会社に譲渡することを本年4月に決定。本事業の開発販売で先行する同社との合弁事業化により一層の関係強化を実現し、LED素子の高輝度化や生産効率向上など研究開発面でのシナジー効果の発揮を目指す。なお、4元（AlGaInP）系、ガリウムヒ素（GaAs）系・ガリウムリン（GaP）系などGaN系以外のLED素子事業については今後も当社単独の事業として継続する。

セグメント別トピックス

■無機セグメント

●中鋼集団四川炭素有限公司の持分を取得

◆ 電炉鋼生産時の必須消耗部材として使用される黒鉛電極について、中国およびアジアにおける本事業の拡大を図るため、本年４月に中鋼集団四川炭素有限公司（中国四川省）の持分67%を親会社である中国中鋼集団公司より取得することに合意し関連契約書に調印した。今後、関係政府機関の批准を経て、同社を当社子会社とする予定。
黒鉛電極生産能力は、同社の年産２万２千トンを加え、既存の日本・米国拠点と合わせて年産12万７千トンとなる。また、2013年中の米国拠点の設備増強完了により年産15万７千トンに拡大し、世界有数の黒鉛電極サプライヤーとしての地位を確固たるものとする。

■アルミニウムセグメント

●高純度アルミ箔の中国生産拠点を起工

◆ アルミ電解コンデンサーの主要材料である高純度アルミ箔の事業強化の一環として、中国での生産拠点の新設を決定し、本年３月に中国江蘇省南通市の建設予定地で起工式を実施。本拠点では堺事業所から供給する高純度箔地の最終加工までを行い、中国国内に販売する計画で、生産開始は2013年後半を予定。経済成長が続く中国では、家電製品から輸送機器まで幅広く使用される電解コンデンサー市場の拡大が見込まれている。現地拠点の新設等により高純度アルミ箔の需要拡大にタイムリーに対応する。

セグメント別トピックス

アルミニウムセグメント

- 自動車空調用熱交換器事業を譲渡
  - 本年１月にコンデンサーやエバポレーター等のアルミニウム製自動車空調用熱交換器事業について、本事業に関する子会社「㈱サーマル・テクノロジー」株式の60%を㈱ケーヒンに譲渡した。なお、当社所有の残り40%の株式については2年後に㈱ケーヒンに譲渡する予定。